

ORIC NEWS

翔飛

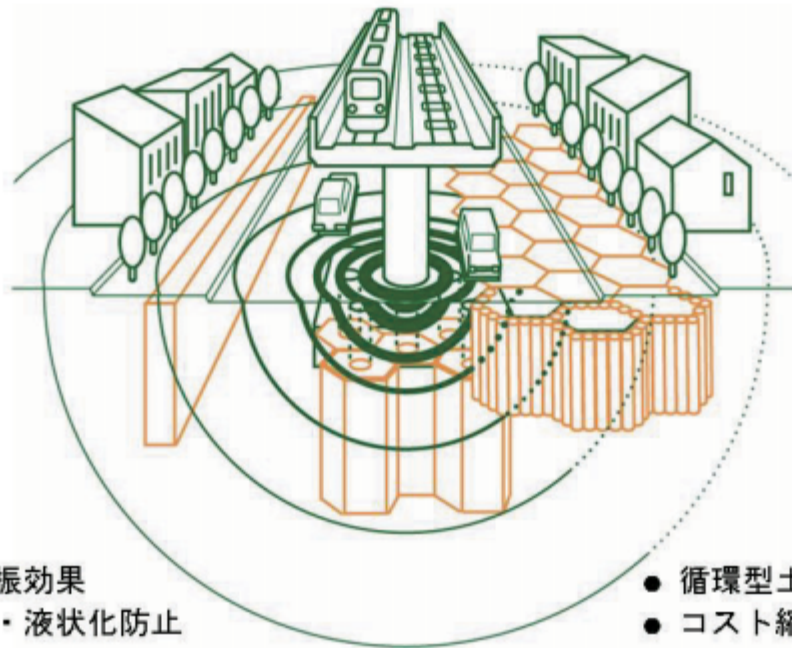
ひしように

入居企業紹介

低周波振動を遮断、振動エネルギー吸収する WIB工法

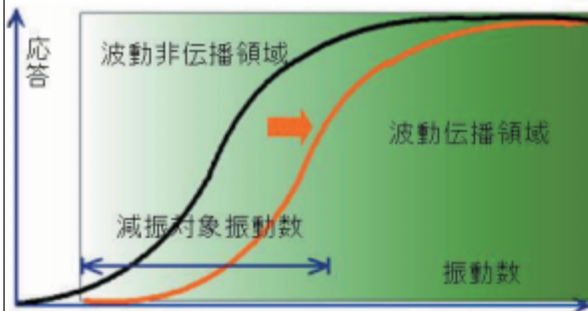
技術に活かす

自然から学び



- 高い減振効果
- 耐震化・液状化防止

- 循環型土木資材
- コスト縮減と工期短縮




波動遮断特性曲線



都内事業所からの振動遮断WIB工事

岡山大学発ベンチャービジネス 防振・耐震・騒音対策の地盤・構造技術

 E&Dテクノデザイン株式会社

<http://www.ed-techno.org>

詳細は7ページをご覧ください

一本号の主な内容

- 巻頭言
- 研修・交流会活動
- 入居者の活動・トピックス
- 入居企業紹介
- イベント案内
- 新入居者紹介

No.21 (2008.7)

世界へ“飛翔”

財団法人岡山県産業振興財団 理事長 青井 賢平



先日、ORIC がめでたく開所 5 周年を迎えられました。記念パーティーの終盤、松尾センター長に続き、インキュベーション・マネージャー（IM）とスタッフの皆さんが参加者の前に横一列に並び、これまでの想いと今後の決意を表明されると、ORIC 入居者・卒業者を含む出席者からあたたかい拍手と賛辞を浴びておられました。「何と和やかで心地よい関係をスタッフ・入居企業・関係機関との間に築いておられるのか!」と感服いたしました。同時に、ORIC が多数の企業と起業家を育成し、世に送り出してきたその“秘訣”を垣間見た気がしました。

ORIC は、ハード面は言うに及ばず、ソフト面での入居者支援サービスが非常に充実している全国でも数少ないインキュベーション施設です。技術や経営に強い IM が 4 人在籍し、個別サポートを行うだけでなく、入居者間の交流会や独自セミナーの開催など、手厚い支援体制が整っています。IM がいるビジネス・インキュベータは全国に 190 施設ほどありますが、この中でも ORIC は「かながわサイエンスパーク（KSP）」に次いで全国 1・2 を争うほど、ハード・ソフトともに充実したインキュベーション施設と言えるでしょう。

ORIC は岡山県の研究開発の拠点「岡山リサーチパーク」に位置していることもあり、各大学、岡山県工業技術センターの産学官による連携を密にとりながら、一体的に入居企業を支援しています。先日

「産学官連携功労者 経済産業大臣表彰」を受賞されたのも、その功績が認められたものと伺っております。

ORIC はこれまで魅力的な技術・サービスを持つ企業・起業家を多数輩出していますが、5 周年を迎えられ、世界レベルでの優れたオンリーワン技術と将来性をもつ企業も少しずつ芽を出し始めたように思います。例えば日本新事業支援機関協議会（JANBO）による「JANBO Awards 2006 ビジネスインキュベーション大賞」を受賞した(株)日本ステントテクノロジーのように、産学官の連携により研究開発した製品をもって世界に挑む企業が出てきております。

これらの成果は、ORIC と ORIC に関わる全ての方との良い関係から生まれた「ソフト支援」の賜物だと言えるでしょう。とは言え、真に世界へ羽ばたき、世界に通用する企業となるまでにはもう少しの時間と、周囲の支援が必要かと思えます。我々産業振興財団も、中核的支援機関としてあらゆる支援を惜しみません。

奇しくも岡山空港からわずかの距離に立地している ORIC です。今後もこうしたソフト面での支援を継続・拡大していただき、岡山発・世界へ飛び立つ意の「飛翔」の如く、まさしく世界へ夢を持って羽ばたく企業が ORIC から多数生まれることを期待しております。

■ 平成20年4月度ORIC交流会及びセミナー

●入居企業紹介

「販路開拓で08年度新連携に認定！岡山発・世界初『プロビタC』が現代人に必要な本当の理由」
 (株) アスコルバイオ研究所

同社山本格社長から会社紹介がありました。同社は今春、「高機能な安定・持続型ビタミンC及びその配合商品の企画・開発と製造・販売の促進」というテーマで中国経済産業局長、中国四国農政局長連名により「新連携計画」の認定を受けました。山本社長は「安定型ビタミンC(AA-2G)の本物の良さをサプリメントにした『プロビタC』が美容と健康の維持に役立っていることを実証しつつある我々の企業努力が新連携認定という形で認められた。認定を契機に売上高5億円を目指す」と意気込みを語られました。※新連携計画：連携する複数の中小企業者等がそれぞれの強みを生かして新事業の創出、新市場の拡大を目指す事を国が支援する制度です。



●ゲスト企業紹介

「岡山発！ガイドワイヤー開発物語」(株) ティーアールエス



同社代表取締役橋本輝夫氏から「当社はガイドワイヤー一筋15年間研究を重ねて現在、その製造販売を行っている。今春、ご縁を得て、こりりサーチパーク内に生産拠点を構えた。冠動脈が詰まってしまう心不全などの場合に、日本では25年ほど前からカテーテル治療がスタートした。そのカテーテルを、狙った場所に安全に的確に持つていくための細いワイヤーがガイドワイヤーと呼ばれるもの。ガイドワイヤーには、しなやかであること、折れない事、先端に加工が出来る事、コシがある事、先端は柔らかい事など5つの矛盾を内蔵した機能が求められる。製品は医師が使用するとダメか良いかはっきり結果がでる。水に浸して持続的で耐久性のあるコート開発技術を探している。今後の目標としては、より細いもの、大腸がんなどの対策としての太くて長いものも完成させたい。海外の国との提携も視野に入れて更に優れた製品を作って、売上高10億円を目指す」と力強く語られました。

●ORICセミナー

「基礎から学べる経営に生かす決算書の見方」

税理士法人石井会計 代表社員齊藤司幸税理士に、決算書を見てそれをどのように経営に生かすか。貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書のどこの数字がポイントなのか、また、経営に生かす経営分析指標の読み方などについて分かり易く解説頂きました。

「どうして利益が出ていないのか、毎年確認するのは人間も会社も同じ。財務体質については、同業他社との比較や前期比増減の原因追及が重要、自己資本比率は40%を目指す。比較損益計算書を作成して各利益率の増減原因を分析する。収益を上げるには、経費を削減するか(固定費を下げる)、売上を伸ばすか(単価アップか量アップ)と言う事になる。固定費下げというと人件費削減となりやすいが、そう単純に考えるのではなく選択と集中、つまり資源の再配分を考える事」と財務諸表の見方の基本からその活かし方について分かり易いご説明に参加者は熱心にメモを取っていました。



■ ORIC 5周年記念セミナー & 交流会

5月29日に市内ホテルにおいてORIC5周年行事として、記念セミナーと交流会を開催しました（PEI岡山インキュベート（株）主催、岡山県共催、財団法人岡山県産業振興財団・おかやまインキュベータ協議会後援）。

主催者としてORICを管理・運営するPFI岡山インキュベート（株）磯崎邦夫代表取締役社長が「今後も岡山県の産業振興に寄与したい」、設置者の岡山県小野隆夫産業労働部長が「ORICを全国にPRしたい」と挨拶、その後、来賓として財団法人岡山県産業振興財団青井賢平理事長が「ORICの今後の発展に期待する」と祝辞を述べられました。次にORIC松尾センター長が、「ORICの5年」と題して、平成15年4月開業からORIC並びに入居企業、卒業企業等について振り返り、今後の課題として「効果的な入居企業支援のあり方、創業希望者の発掘、卒業企業とのネットワーク構築」を上げました。



記念講演では、学生ベンチャーの草分けで、日本新事業支援機関協議会長の堀場製作所最高顧問、堀場雅夫氏に「クオリア時代」をテーマにご講演頂きました。『クオリア』とは私流に解釈すると『グットくる感性』、人間がこれからより良く生きるには心にグットくる個々人の感性が大切、そのためには全てに好奇心をもつ事が重要であり、また感性、個性を尊重する教育が不可欠」と語られました。

その後、入居企業の（株）ユニバーサルテクノロジー河原昭二代取締役、（株）シスコ・コミュニケーションズ川西博仁代表取締役、（株）日本ステントテクノロジー山下修蔵代表取締役の3名と卒業企業を代表して岡山流通（株）川上文行代表取締役がそれぞれ事業紹介を行いました。（約150名参加）

■ 平成20年6月度ORIC交流会及びセミナー

●入居企業紹介

「筋電計開発の現状と今後」メディエリアサポート(企)

同社の筋電計開発状況についての説明がありました。筋電計は、筋肉の活動を調べる装置で、介護やリハビリ現場では有効な装置なのですが、大型で高価格なのが、普及の障害でした。同社は現場の施術者向けに小型、軽量の筋電計を開発し、加えて被験者の動きを妨げない無線接続や、瞬間の動きの解析もできる新ソフトを搭載して、従来品の1/3程度の価格で提供できるまでコストダウンしました。今後、リハビリ現場への販売活動に注力する予定です。



●ゲスト企業紹介

「おかやま信金の中小・ベンチャー企業への取り組み」

おかやま信用金庫横井支店、高島正弘支店長は、「金融機関の考え方はローリスクローリターンが原則。企業を信用格付け（10段階）、デフォルト確率や自己査定にてランク付けして融資判断を行う。決算数字は重要視するが、すべてではない。ベンチャー企業のように売上が立っていない企業についての判断は大変難しい。しかしながら、金融庁検査マニュアルにもあるが、将来性を評価するポイントとして技術力と販売力を証明して貰えれば融資も可能。その証明書とは実現性の高い事業計画書、公的補助金の決定通知書など客観的、具体的判断材料の事。また、経営者が信頼できる人



かどうか、日頃から情報提供してくれるなど、お互い意思疎通が大切。信用金庫は中小・零細企業のための営業エリア限定の所謂、地産地消型の金融機関で地域と運命共同体。」と分かりやすく丁寧にお話頂きました。その他、ローン新商品やしんきん合同ビジネス交流会等についてもご説明がありました。

●ORICセミナー

「商品開発戦略の事業化までのチェックポイント」

(有) ステファンテリー NII の新居敏春代表から、標記のテーマで講演していただきました。今日の IT 社会では、購入者が簡単に自分で調べて商品比較を行えるため、オリジナリティーのある企業だけしか生き残れない。従ってアイデアを出し続けることが重要で、そのための仕組み作り（社内提案制度、顧客ニーズの吸収・反映）が必要です。そのアイデアは、特許、商標権（→ブランド形成 = 信用）、意匠権などの知的所有権として保護します。また、商品の市場性を調査・確認するために、市場分析、テストマーケティング等の活動が必須です。製品を作れるということと、それが商品として売れることは別のことであり、商品の付加価値（= インパクト = 差別化）が無ければ、市場では受け入れられません。価格設定も、その重要な要素となります。商品開発は、費用と期間を定めて経営資源を浪費しないことも必要で、開発の過程ではいつまでに誰が何を行うかを管理することも重要です。短時間に非常に濃い内容を講演していただきましたが、配布資料が丁寧で、講師の口調も明確で、わかりやすく、満足度の高い講演と好評でした。



■ フォーカスセミナー

「平成20年度中小公庫のベンチャー企業向け融資制度」

4月21日（月）に中小企業金融公庫融資業務部、高岡泰彦特別貸付課長を講師にお招きし、表題のフォーカスセミナーを開催。ベンチャー企業向け融資制度の概要、新株予約権付融資制度の概要の他、平成20年度の中小・ベンチャー企業向けの新たな融資制度についてもご説明を頂きました。融資制度の詳しい内容については同金融公庫岡山支店（086-222-7666）までお問合せ願います。



■ 第15回IT研究会 「安全、安心、快適なサーバー環境の提供」

平成20年5月9日（金）交流サロンにおいて、株式会社チロネットの代表取締役安藤究真氏をお招きして「安全、安心、快適なサーバー環境の提供」について講演して頂きました。近年ASPサービスが増えて来ましたが、24時間365日サービスを提供しなければならない場合、サーバー環境は重要な要素となります。サービスを開始した当初は問題にならなくても、成長するにつれ容易に移設することも出来なくなります。そのため間違いのないレンタルサーバーを選ぶ必要があり、そのポイントを判りやすく説明していただきました。



安藤氏は大学4年生で起業し約10年経ちます。立ち上げ当初の苦労話や成長していく過程のお話は、起業して間もない若手経営者には役に立つもので大いに刺激になりました。引き続き良き相談相手になって頂けると期待されます。今回の参加者は入居企業含め13名でした。

■ 「第6回産学官連携功労者表彰 経済産業大臣賞受賞」



6月14日に国立京都国際会館で開催された第7回産学官連携推進会議で、(財)岡山県産業振興財団経営支援部中小企業支援センター、横田尚之センター長及び岡山県工業技術センター機械系技術部、窪田真一郎研究員とともに、ORIC松尾彰センター長が頭書の賞を受賞しました。これは「ORICが新事業・新製品の開発や創業を図る企業・個人を支援する拠点として、リサーチパーク内に隣接する産業振興財団、工業技術センターと一体的に連携した取組を展開し、その結果、短期間で将来性の高い起業家を多数発掘し、成長させ、県内の新産業・雇用の創出に優れた成果を挙げていることが評価された」ことにあります。受賞者は、「受賞は地域の支援機関・企業をはじめ多くの方のサポートの賜物であり感謝申し上げたい。また、今後の取組に一層邁進していきたい」と決意を新たにしていました。

■ 平成20年度オンリーワン企業育成事業採択決定

(財)岡山県産業振興財団が県の補助を受けて実施している「オンリーワン企業育成支援事業」に以下の入居企業3先が採択されましたのでお知らせいたします。今年度は34先の申請者の中からORIC入居企業を含め16先が採択されました。

E&Dテクノデザイン(株)、バイオシステムメディカルテクノロジー(株)、免疫分析研究センター(株)

■ 卒業企業リサーチパークへ拠点



新社屋玄関前の三吉社長



完成した本社々屋

上下水道維持管理等ソフトウェア開発の(株)アイ・サポート(平成16年10月設立、資本金10百万円、従業員18人、三吉康夫代表取締役)は、6月末にORICを卒業、岡山リサーチパーク内に土地約1,900㎡を購入(特約付分譲)、鉄骨平屋約365㎡の新社屋を新築、7月から業務を開始されています。ORIC卒業企業のリサーチパークへの本社新築移転は初めてのケースです。

三吉社長は「今年度中には従業員も5人新規採用し、現在、約50百万円の売上高を将来的には10億円に伸ばしたい」と抱負を語られました。今後一層のご発展をお祈りいたします。

E & D テクノデザイン株式会社



代表者 代表取締役 竹宮宏和 氏
連絡先 岡山市芳賀5303 ORIC109号室
T E L 086-286-8519 F A X 086-286-8519
U R L <http://www.ed-techno.org>
E - m a i l takemiya@ed-techno.org

岡山大学教授を定年退官した竹宮宏和氏が、自身の研究成果を社会に広めるために創業した企業です。本年3月末の定年退官を機に、竹宮氏は長年の研究成果の技術を用いて社会貢献するために、起業を決意しました。

ORICには、まず創業準備室に入居し、事業計画を練り上げる傍ら、昨年秋のベンチャービジネスプランコンテストに参加し、見事最優秀賞を受賞しました。その副賞としてORICに無審査、無料（3年間）で入居する権利を得ました。さて、その研究成果とは、地震、建設工事や鉄道・道路交通で発生する地盤の振動を効果的に減衰させる「WIB工法」のことで、一般住宅から大規模工事まで、幅広く応用することができます。「WIB工法」は、堅い物質と振動を吸収し易い物質を組み合わせることが設計のポイントです。地震の震動や、人体にとって不快と感じる低周波の振動（例えば、工事による振動など）が、建物の周囲や真下に設置した堅い物質を通過する時に、その振動はより高周波数側にシフトさせられます。やや高周波となった振動は、低周波の時より効果的に吸収・減衰させることができます。さらにこの堅い物質で空間を囲んで、その中に振動を吸収し易い物質を詰め込んでおくと、堅い物質から放射された振動が、周囲の

堅い物質に反射し、相互に打ち消し合い、吸振材に吸収され、非常に効果的に減衰します。この方法で、竹宮氏は土木学会や地盤工学会の賞を何度か受賞しており、すでに特許権と商標権も取得しています。竹宮氏は、大学教官時代から、計測に基づいて環境に配慮したこの工法による耐震、防振の指導を行ってきました。一般住宅向けの地盤改良や、鉄道や道路での発生振動や工事による振動対策に採用され、すでに60件程度の施工実績があります。最近では、低周波振動により周辺住民から苦情が発生していた事業所での大規模な振動対策工事にも採用されました。ハイテク産業施設への防振対策も展開しており、振動公害対策だけでなく、地震による被害の心配される地域への適用も望まれ、日本から世界へ、竹宮氏の今後の事業展開が期待されます。

（表紙の図「WIB工法」の説明）

図の中央に鉄道の高架線があり、その支柱から振動が市街地に伝搬しています。橙色の六角形の構造がWIB工法の施工を示しており、そのエリアで振動の減衰効果が高いことが、振動の伝搬線が破線になることで示されています。

第4回しんきん合同ビジネス交流会開催のお知らせ

(財)岡山県産業振興財団、県内8信用金庫、中小企業金融公庫岡山支店等が合同で、それぞれの取引先を対象とした「第4回しんきん合同ビジネス交流会」がコンベックス岡山にて開催されます。様々な業種の中小企業395社や大学等の特別参加機関、大手バイヤー等が一堂に会し、事前マッチング方式により商談が行われます。

毎回参加者から好評のビジネスマッチングについては、午前中は個別商談会が午後からブース参加企業以外のフリー商談会も開催されますので奮ってご参加下さい(ブース出展、個別商談会については締切済みです)。

日 時：平成20年9月18日(木) 10:00～16:00

場 所：コンベックス岡山(岡山市大内田675)

新企画：参加企業を対象としたビジネスコンテストの開催、人材難等の課題解決を目的とした人材コーナーの設置、中国への進出や中国企業との取引を希望される方の相談窓口の設置。

新入居者紹介

6月25日に第22回入居審査会が開催され、下記1社が新たに入居しました。

入居内定企業名 代表者	事業概要	所在地	分野
(株)パティールラボ 代表取締役 三宅 雅	多目的Web-携帯統合データベースを基盤としたASP サービス事業	岡山市	IT

入居者募集中

センターでは随時入居のご相談に応じています。お気軽にお問い合わせください。

■ 設使用料・空き室状況

施設区分	面積	使用料の月額	部屋数	空き室数
研究室小	約25㎡	45,000円	22	8
研究室大	約50㎡	88,000円	30	9
試作開発室	約100㎡	175,000円	6	1
創業準備室	5㎡/ 1ブース	5,000円	6ブース	5ブース



研究室大



研究室小

創業5年未満の会社は、入居後3年間は
使用料を1/2に減免する制度があります。

■ 次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。次回は8月末までに事業計画書を提出された方を対象に、9月中に開催の予定です。

※創業準備室の募集は随時受付けています。

詳しくはホームページをご覧ください。<http://www/oric.ne.jp>